

各 位

会 社 名 ピープル株式会社
 代表者名 取締役兼代表執行役 桐 潤 真人
 (東証 JASDAQ コード 7865)
 問合せ先 IR 担当 飛田留美子
 電話 03-3862-2768

2020年1月期第2四半期累計期間 連結業績予想の修正に関するお知らせ

2019年6月3日付当社「2020年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」において発表いたしました2020年1月期第2四半期累計期間(2019年1月21日~2019年7月20日)の連結業績予想について、下記のとおり修正いたします。

記

2020年1月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2019年1月21日~2019年7月20日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想 (A)	1,625	50	49	30	6.76
今回修正予想 (B)	1,667	77	74	47	10.86
増減額 (B-A)	42	27	25	17	
増減率	2.6%	55.6%	50.0%	60.6%	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2019年1月期第2四半期累計期間)	1,699	100	97	61	14.03

修正の理由

当第2四半期累計期間では、7月度の国内販売において想定以上に売上の上方修正があり、予想を42百万円ほど上回り、同期間の総売上高は16億67百万円となりました。国内玩具市場はGW商戦以降、厳しい状況でしたが、7月に入ると夏休み商戦を睨んだ期待を受け、乳児・知育カテゴリーにおいて定番品各種が広範囲に渡り追加注文されました。また、育児用品カテゴリーでは、回転良好で欠品を余儀なくされていた「テディハグ」(オープン価格)の入荷が当7月度に前倒しとなり、まとまった数量の注文残が出荷されたこと、自転車の受注増、等の要因が重なったことで上方修正となりました。売上高の上方修正に伴い、営業利益は77百万円となり、予想対比55.6%増、親会社に帰属する当四半期純利益では予想対比60.6%増となりました。

なお、「2020年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」は、9月2日に開示を予定しております。

以上